

宮城県地方税滞納整理機構通信

納めLINE

納めてください(標準語)
納めらいん(宮城の方言)
納めLINE(通信紙名)

県内一斉インターネット公売

落札結果発表 落札総額は125万円

今年で4回目となる県内一斉インターネット公売が、11月に機構参加市町村など19団体により実施されました。

公売品数は動産、不動産合わせて177件で、参加申込は2千241件でした。ダイヤネットレスなどの貴金属や骨董品のほかにも、目玉商品となった薬局でおなじみの「サトちゃん」の置物やブルーレイディスクレコーダーが人気を呼びました。

今年度は、下見会の来場者数など数値全体が昨年度より少ない結果となりましたが、見積価格が300円だったムートンが2万6千円の高倍率で落札されたり、県外からも多くの入札があるなど、インターネット公売の内容については充実したのとなりました。落札価

	平成24年度	平成23年度
参加団体数	18	18
下見会来場者数	293	675
公売参加申込件数	2,241	3,207
動産	公売品数	213
	落札額(円)	1,245,608
不動産	公売品数	6
	落札額(円)	0
落札額合計(円)	1,245,608	3,785,734

格総額は約125万円となりましたが、金額の多寡にかかわらず、この取り組みを通じて捜索や動産の差押え等を広く周知することにもつながるため、今後も県内一斉インターネット公売を継続していきます。(インターネット公売の詳細についてはヤフージャパンの官公庁オークションをご覧ください。)



サトちゃん置物
見積価格 2,400円
落札価額31,500円



先日、平成26年春に卒業予定の学

生を対象とした職場見学会「オープンオフィスin宮城県庁」が開催され、当室にもフレッシュな学生さんが見学にいらつしやいました。職員から滞納整理機構

職場見学会を実施しました



からも新鮮な気分でした。なお、当室への見学者は女性が多かったです。皆さん徴収や滞納処分に興味があるとのこと、家宅捜索の事なども簡単に説明させていただきました。昨年放送された国税職員のドラマ「トツカン」でも女性主人公が活躍していました。女性の徴税吏員もカッコイイですね。是非、来年は宮城県職員採用試験を受験していただき、いつか県庁と一緒に仕事をすることができたら嬉しいですね。

採用試験について、詳しくは宮城県ホームページ「職員採用試験情報」をご覧ください
<http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/>

機構活動状況

平成24年11月30日現在

11月末時点の徴収率は、機構設立以来最高となった昨年度の同時期と比べると5.1%高い36.5%と過去最高の徴収率となっております。

●滞納処分件数

- ・ 捜索1111件
- ・ 差押458件
- (不動産10件、自動車3件、動産60件、債権その他財産385件)

徴収状況 (各年度とも11月末現在)

	平成24年度	平成23年度
引受件数(件)	933	888
引受税額(千円)	1,134,327	1,315,287
徴収済額(千円)	413,668	413,031
徴収率	36.5%	31.4%
本税完納件数(件)	239	131

11月末同期比で、機構設立以来
過去最高の徴収率を達成!

捜索7つ道具

徹底解説 第2回

第2回目でご紹介するのは作業着と手袋です。

機構では捜索の際、職員が作業着を着用しています。捜索では隅々まで調査するので、汗をかいたり埃がついたりするため、動きやすい格好がベストです。ただ、捜索長は指示や滞納者との折衝をしますので、ビジネスとしたスーツを着ることもあります。捜索はチームワークが大事ですの



産は商品であり、気をつけて大事に扱わなければならないという事です。貴金属店の店員さんが手袋を着けているのと同じ事です。捜索とは滞納者の承諾がいらぬ強制

実録 捜索レポート

機構では、夏を過ぎた頃から毎日のように滞納者の自宅や関係先を捜索にいきます。捜索には滞納者が実際どのような生活をしているかを確認する財産調査の意味合いもあります。滞納者が人それぞれのように様々な家があります。綺麗に整頓されている家もあれば何年も掃除をしていないような家、猫や犬を十数匹飼って住居者の生活スペースをペットに占領されている家もあります。

先日、私が捜索長として捜索を行った家は、当初、納税相談で生活が厳しく、税金にまわす余裕が無いと

で、全員が同じ格好をしているとチーム力がアップしますし、滞納者も一目置くことでしょう。

また、捜索では全員白い手袋を着用します。差し押さえた財産は、より高く売り税金へ充てる努力をしなければなりません。要するに差押財産は商品であり、気をつけて大事に扱わなければならないという事です。貴金属店の店員さんが手袋を着けているのと同じ事です。捜索とは滞納者の承諾がいらぬ強制

の話をされた滞納者の自宅でしたが、現場に到着し、外から見た限りでは「豪邸」。中に入り、捜索を開始すると敏腕捜索員たちが次々と宝飾品や骨董品、趣味で集めたという古銭や昔の紙幣を次々と発見。

滞納者の皆さん全員が「虚偽」の話しをされる訳では勿論ありませんが、実際に生活環境を確認しないと、担税力があるのに滞納を許してしまうことになります。

今日も県内のどこかで捜索を行います。



調査とは言っても、スムーズに行かない場合も多々あります。滞納者に対するファーストインプレッションが大事であり、「格好からこちらの本気度を感じてもらおう!」というのもあると思います。

機構職員のヴォイイ

「自分に派遣の話はないだろう」年齢も年齢なので、誠に勝手ながらそう思い込んでいた私:

前勤務先の上司に別室へと誘導され、突然に「滞納整理機構へ行ってみないか?」とお誘いがありました。税務経験はあるものの、10年以上も前のことであり、まして滞納整理という業務は、私にとって全く未知の世界:正直不安がありました。折角の機会でしたのでお受けすることにしました。

赴任当初こそ緊張の連続でしたが、室内の雰囲気はとても明るく、業務はもとより研修会やミーティング、個別指導に至るまで、問題や課題を一人で考え込むのではなく、みんなで解決していこうという体制で臨んでいますので、個人としてはまだ未熟な部分ではありますが、日々充実した仕事ができていると感じています。

とはいえ、様々な人を相手にする業務ですから、時として興奮状態で

あったり、泣きながら訴えかけてくる方などおられますが「納税は国民の義務」であることをしっかりと認識していただき、期限内にきちんと納税していただくことが、何よりも大切なことだと思っています。税の公平性から、期限内にきちんと納税されている皆様のためにも、毅然とした対応、場合によっては財産の差押や捜索といった処分を実施することもありますが、基本的スタンスとしては、丁寧な納税折衝や納税相談等を通じ、滞納者との信頼関係構築を心がけています。

税の滞納がある限り、行政においても「滞納整理業務」はなくなりません。将来的に、世の中から滞納がなくなることを夢見つつ、今日も一日頑張りたいと思います。

ご意見・ご要望はこちらへ

宮城県地方税滞納整理機構
(宮城県総務部地方税徴収対策室内)

〒980-0857
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL 022-211-1668
FAX 022-211-2289
E-mail: choutai@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/choutai/



機構キャラクター
おさむね君